

プロセッサオプション

インストール手順

HP ProLiant DL580 Gen8サーバー用



© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

製品番号 : 742023-191
2014年1月
版数 : 1



742023-191

概要

このカードでは、プロセッサとヒートシンクの取り付け手順について説明します。

キットの内容

- プロセッサ
- ヒートシンク
- 本書

取り付けのガイドライン

このサーバーは最大4基のプロセッサをサポートします。プロセッサを取り付ける際には、次のガイドラインに従ってください。

- プロセッサソケット1には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット1にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは正常に機能しません。
- PCIeボードを取り付けるときは、以下の表に示すPCIeボードとプロセッサの格納規則に従います。

PCIe スロット	説明	プロセッサ	メモ리카ートリッジ
1 - FL/FH	PCIe3* x16 (16、8、4、2、1)	プロセッサ4	メモ리카ートリッジ 7および8
2 - FL/FH	PCIe3* x16 (16、8、4、2、1)	プロセッサ4	メモ리카ートリッジ 7および8
3 - FL/FH	PCIe3* x16 (16、8、4、2、1)	プロセッサ3	メモ리카ートリッジ 5および6
4 - FL/FH	PCIe3 x16 (8、4、2、1)	プロセッサ3	メモ리카ートリッジ 5および6
5 - FL/FH	PCIe3 x16 (8、4、2、1)	プロセッサ3	メモ리카ートリッジ 5および6
6 - FL/FH	PCIe3* x16 (16、8、4、2、1)	プロセッサ2	メモ리카ートリッジ 3および4
7 - FL/FH	PCIe3 x16 (8、4、2、1)	プロセッサ2	メモ리카ートリッジ 3および4
8 - FL/FH	PCIe3 x16 (8、4、2、1)	プロセッサ2	メモ리카ートリッジ 3および4
9 - FL/FH	PCIe3 x16* (16、8、4、2、1)	プロセッサ1	メモ리카ートリッジ 1および2

FL/FH = フルレンジス/フルハイトPCIeボード

HL/FH = ハーフレンジス/フルハイトボード

すべてのPCIeコネクタは最大75 Wまで供給が可能です。

*横幅が2倍の高電力PCIカード（最大300 W）は、補助電源ケーブルを使用してこれらのスロットで使用できます。

プロセッサの取り付け

プロセッサとメモリは、サーバーの前面からアクセスできるドロワーに格納されています。プロセッサとメモリを取り付けたり交換したりするために、サーバーをラックから引き出したり、取り外したりする必要はありません。

警告： プロセッサメモリドロワーを取り付けるまたは取り外す際は、十分に注意してください。装備完了後は、プロセッサメモリドロワーが非常に重くなります。

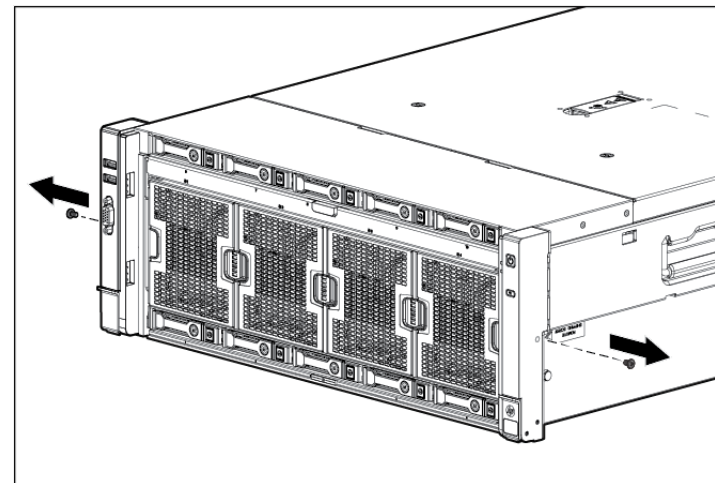
注意： サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ製品番号のプロセッサを使用してください。

重要： 以前より速度の速いプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システムROMをアップデートしてください。

重要： システムのBIOSをアップデートしてから、プロセッサ生成アップデートをインストールしてください。

コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

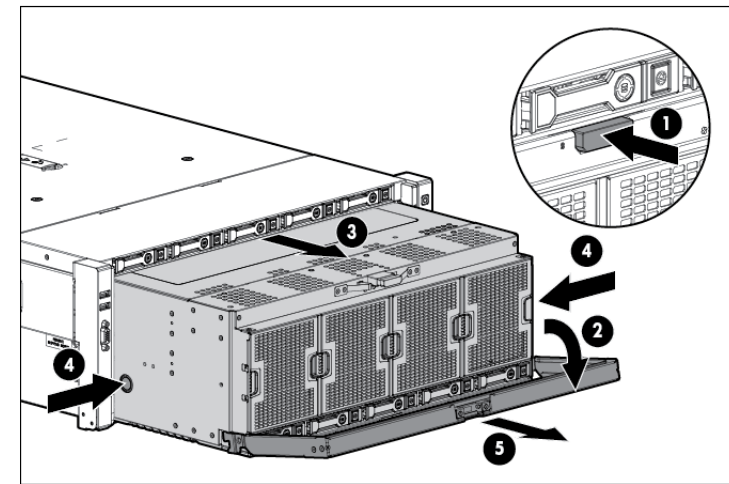
- システムROMを更新します。
HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/support>から、最新バージョンのROMを検索してダウンロードします。システムROMを更新するには、Webサイトの指示に従ってください。
- すべての電源の取り外し：
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- プロセッサメモリドロワーの輸送用ネジが取り付けられている場合は取り外します。ネジは、将来使用できるように保管しておいてください。



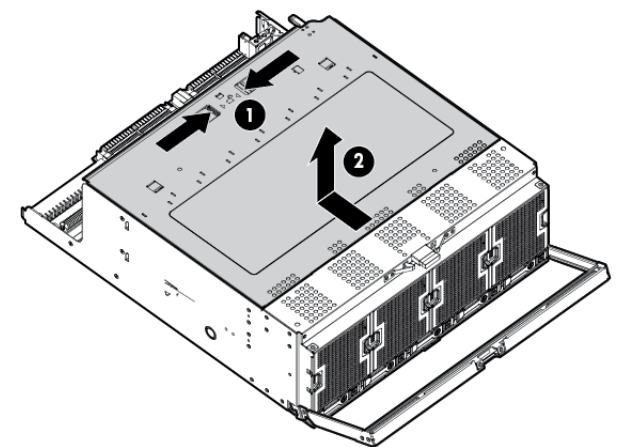
- リリースレバーのボタンを押します。
- ハンドルを下げ、リリース ラッチに引っかかるまでサーバーからプロセッサメモリドロワーを引き出します。

警告： プロセッサメモリドロワーの重量は11.3 kgを超えます。プロセッサメモリドロワーの取り外しや交換の際には、十分に注意してください。

- プロセッサメモリドロワーをしっかりと持ち、リリースボタンを押してサーバーからドロワーを取り外します。

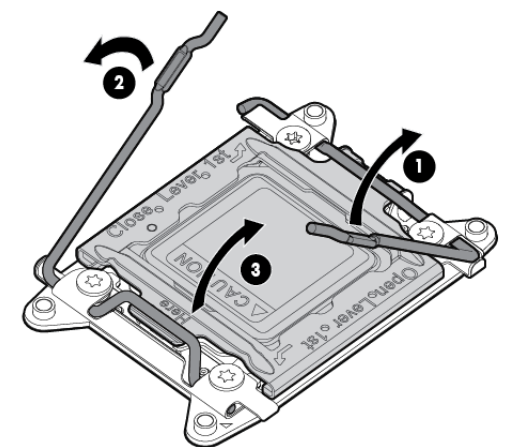


- プロセッサメモリドロワーのカバーを取り外します。



注意： プロセッサソケットのピンは、非常に壊れやすくなっています。ピンが壊れると、システムボードの交換が必要になる場合があります。

- 示されている順序でプロセッサの各ロック用レバーを開き、プロセッサ固定用ブラケットを開きます。

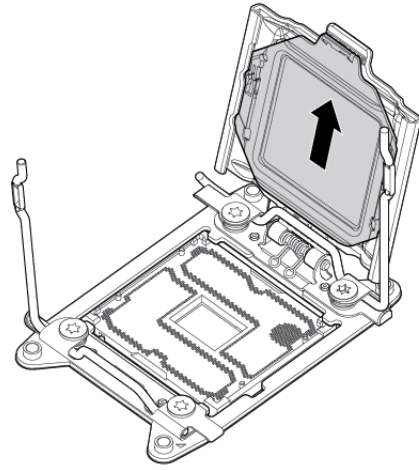


製品番号 : 742023-191
2014年1月
版数 : 1

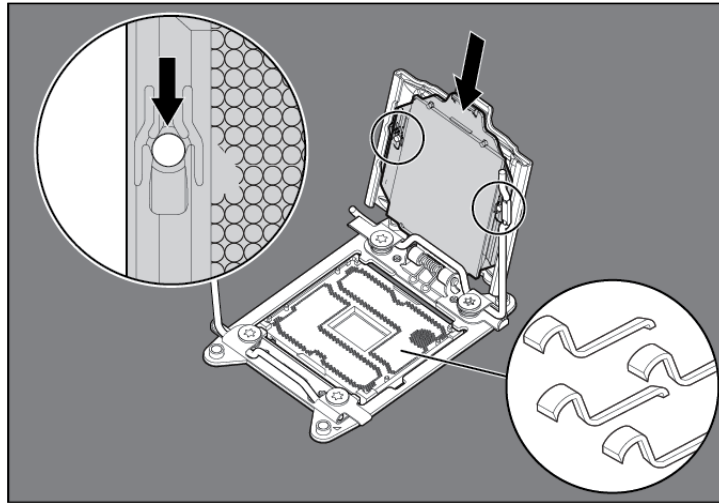


742023-191

9. 透明なプロセッサースOCKETカバーを取り外します。プロセッサースOCKETカバーは、将来使用できるように保管しておいてください。



10. プロセッサを取り付けます。プロセッサの両側にあるプロセッサ取り付けガイドを目で確認しながら、プロセッサ固定用ブラケットにプロセッサを確実に固定します。システムボードのピンは、非常に壊れやすく、簡単に損傷します。

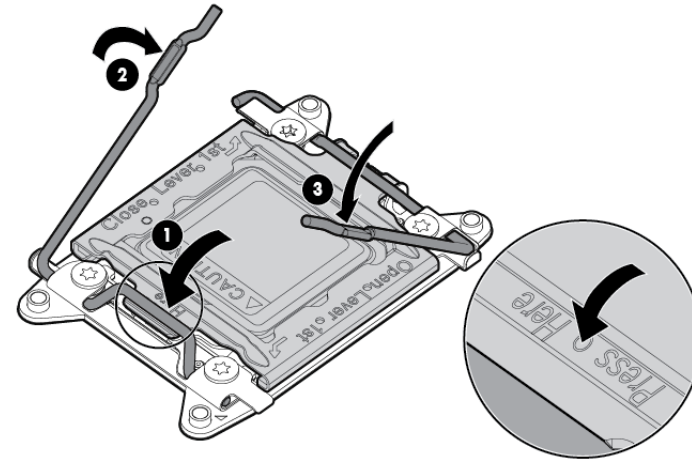


△ **注意**：システムボードのピンは、非常に壊れやすく、簡単に損傷します。システムボードの損傷を防止するために、プロセッサまたはプロセッサソケットの接点には触れないでください。

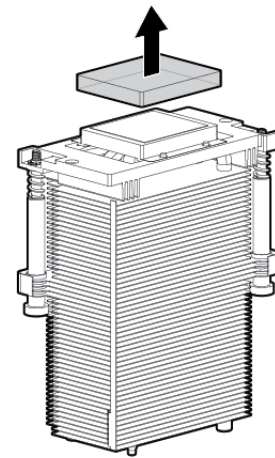
11. プロセッサ固定用ブラケットを閉じます。プロセッサがプロセッサ固定用ブラケットに正しく取り付けられている場合、ソケットの前面でプロセッサ固定用ブラケットはフランジにかかっていません。

△ **注意**：プロセッサを押し込まないでください。プロセッサを押し込むと、プロセッサソケットやシステムボードが損傷する場合があります。プロセッサ固定用ブラケットの示されている部分のみを押してください。

12. プロセッサ固定用ブラケットを押して正しい位置で固定し、プロセッサの各ロック用レバーを閉じます。プロセッサ固定用ブラケットの示されている部分のみを押してください。

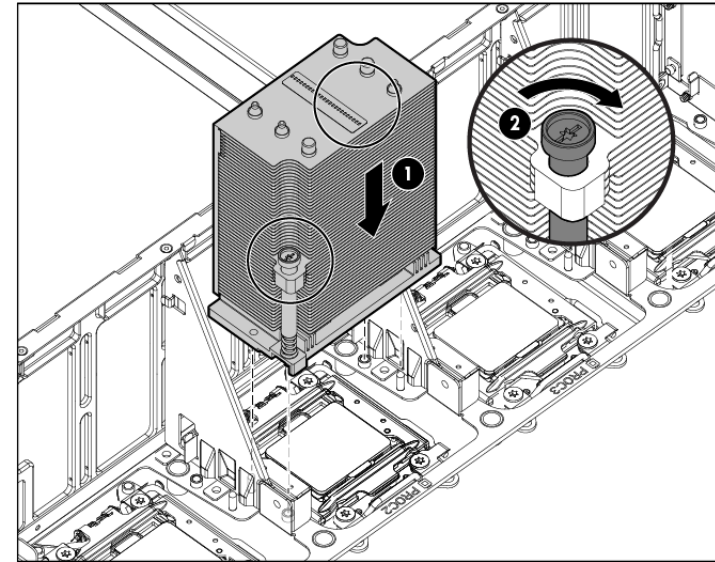


13. ヒートシンクからサーマルインターフェースの保護カバーを取り外します。



△ **注意**：取り付け時や取り外し時にヒートシンクが傾かないように、2本のスプリング式ネジは、対角線上のネジを組み合わせて（Xの字を描くように）緩めたり、締めたりしてください。ネジが折れて取れないよう、ネジを強く締めすぎないでください。システムの最大トルクは0.45 N m（4インチ/ポンド）に設定されています。

14. ヒートシンクを取り付けます。



15. プロセッサメモリドロワーのカバーを取り付けます。
16. プロセッサメモリドロワーを取り付けます。
17. 各電源コードをサーバーに接続します。
18. 各電源コードを電源に接続します。
19. サーバーの電源を入れます。

以上で取り付けは完了です。